



# Referee Time

(審判だより56号)

2022.12.19 審判長:前上里亘

今年、B級とA級の上級審査に各1名の方々が見事、合格致しました。

B級審査は今年7月に実施され、9月に合格が発表されました。

県内からは下地潤平さん(美東中学校勤務)が、見事合格を得ました。

**おめでとうございます。**合格後、各カテゴリーで皆さんとお目にかかっているかと思えます。今後とも、宜しくお願い致します。

本人より、合格のコメントが入っていますので、ご覧下さい。

## 「B級審査を受検して」

**美東中学校 下地 潤平**

今回単身で受検するにあたって不安な面もありましたが、競技規則について勉強することと、審査会に向けて中学から社会人まで、各カテゴリーで審判員として参加させていただけたことで、幅広い視点でジャッジができるようになり、自信につながりました。

また、審査会に向けての取り組みを通して、先輩方から多くのアドバイスをいただきました。罰則をとろうとするのではなく「いいプレーを引き出す」「選手が迷わないように」等、審判員としてゲームにどう関わっていくのかという姿勢を学ぶことができました。この経験を活かし、選手が楽しみながらプレーをするサポートができる審判員を目指してこれからも努力を続けてきたいと思えます。

同じく、9月A級審査を受験し、先日合格者が発表され、県内からは、金城久徳さん(南風原中学校勤務)が合格を得ました。コロナ禍後、A級審査は、これまでのA級取得以上に高いハードルになっており、全国大会担当・JHLレフイー・日本協会指名レフイーへとつながるものとなっています。今後の更なる飛躍を期待しています。

**おめでとうございます。**

## A級審査を受験して

**金城 久徳**

この度A級審査に合格しました中体連の金城と申します。県内大会や県外大会の審判を経験する中で、もっと上を目指してみたいとの思いで受験しました。今回合格することができましたが、正直そのレベルに達していないと感じています。A級の名に恥じないように、これからも研鑽に励み、レベルアップを目指していききたいと思うのと同時に、他のレフイーから目標とされる笛を吹けるよう頑張っていきます。

受験するにあたり長きに渡りご支援、ご助言を下さいました多くの先生方に感謝を申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。